

令和5年度森林シンポジウム
～J-クレジット・民間資金による森林整備と脱炭素貢献～

— 私たちはどれだけ子供たちに、
自然を残せるのだろうか。 —



カーボン・オフセットで

「長崎の森林🌲」を守ります。



ヤベホーム株式会社



会社紹介

長崎県諫早市にて県産材・国産材を使用した新築注文住宅を建てる工務店です。

「人も地球も健康長寿な住まいづくり」
を目指しています。

自己紹介

ヤベホーム株式会社 代表取締役 矢部 ふくのり 福德

ながさきカーボン・オフセット推進協議会 会長

長崎大学 環境科学部 非常勤講師



諫早市多良見町にある常設モデルハウス



長崎大学環境科学部の講義の様子

受賞歴

2014年 第4回カーボン・オフセット大賞 「優秀賞」

「長崎県日本伝統建築を支える森とヤベホームの注文住宅のカーボン・オフセット」



2018年 ながさき農林業大賞 「特別賞」

長崎県産材を使った住宅を県内で拡大する取組で、長崎県産材の利用拡大、消費者への認知度向上などの貢献が認められ、住宅業界で初の受賞

2018年 ながさき環境県民会議 「最優秀賞」

地球温暖化防止やごみの減量化に取り組む事業者として最優秀賞を受賞



利益を社会に恩返し

実は、私の娘は障害をもっていて病弱でした。娘の入院を繰り返すなかで、国からの支援も受けていましたので、『家族の幸せづくりができる住宅会社をつくって、社会へ貢献したい』という思いで、29歳のときに創業しました。創業時から経常利益の5%を社会に還元することを目標に、小さなリフォーム工事からスタートしました。

娘は、酸素を十分に吸うことができない低酸素脳症で苦しむ中、**間伐などの手入れがきちんとされている森林**へ連れていくと、酸素が吸いやすいのか、呼吸がラクになって顔に赤みがかかっていました。その頃から、健康的な森林の重要性を感じていました。それまでは医療福祉やスポーツへの社会貢献をしてきましたが、2013年に真樹フォレスト株式会社さんから環境問題に貢献できる「**カーボン・オフセット**」の存在を教えてもらい、すぐに始めることにしました。

知って・減らして・オフセット

排出量を知る

ヤベホーム(株)エネルギー年間使用量 (電気・ガソリン)

年	電気量	25,274kwh	×	525gco ₂	=	13.26tco ₂	合計co ₂ 量 23.11tco ₂ 😊
	2012年	ガソリン	4,286ℓ	×	2.3kgco ₂	=	
2013年	電気量	19,656kwh	×	525gco ₂	=	10.31tco ₂	↓ 19.03tco ₂ 😊
	ガソリン	3,795ℓ	×	2.3kgco ₂	=	8.72tco ₂	
2014年	電気量	18,931kwh	×	525gco ₂	=	9.93tco ₂	↓ 15.44tco ₂ 😊
	ガソリン	2,399ℓ	×	2.3kgco ₂	=	5.51tco ₂	
2019年	電気量	20,842kwh	×	319gco ₂	=	6.64tco ₂	↓ 17.25tco ₂ 😞
	ガソリン	4,615ℓ	×	2.3kgco ₂	=	10.61tco ₂	

※2019年度 社員3名増、車両2台増

2023年度はアスエネのCO2排出量算定システムを利用し、
Scope1→5.98tco₂、Scope2→6.23tco₂、合計12.21tco₂

売上高に対する
経常利益に対する

CO2排出量
CO2排出量

2.8 t -co₂/億円
0.34t-co₂/百万円

同業他社の
 $\frac{1}{3}$ 程度

削減する

2013年～ 太陽光発電 本社 及 モデルハウスに設置。LED電球に取替。
電気自動車購入、社長専用車廃止！
社内業務

- ・こまめにスイッチ！
- ・現場打合せスカイプ通信によるガソリン費削減！
- ・移動時ミーティングと「ついで業務」！



2014年～ エコ車へ買替 3台 車両No.4020 (シー、オー、ツー、ゼロ)
15km/ℓ → 30km/ℓ

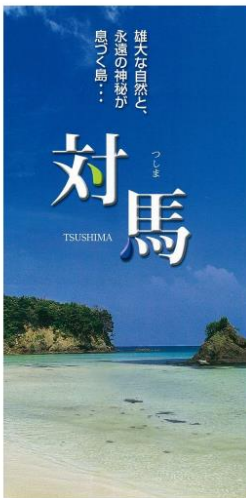
- ・各業務（お客様打合せ含）の計画書提出！
- ・社員全員のスケジュール管理 及 無駄削減！
- ・営業エリアの制限（30分以内の商圈）



オフセットする

YABE ヤベホームは **環境省 CARBON OFFSET** カーボン・オフセットで「**長崎の森林**」を守ります。

—皆様のあたたかい売上金の一部を長崎の
森林整備などに支援させていただいております—



長崎県対馬市

大陸とのつながりを示す多様な生態系保全のための対馬市有林のCO2吸収事業
(環境省登録 0200)

新築住宅建設に係る仮設電気使用量及び事業所内電気使用量、水道使用量、社所有車両に係るガソリン等のCO2排出量



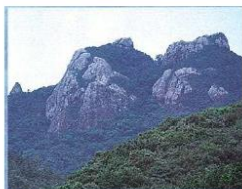
ツシマヤマネコ
雄大な自然と永遠の神秘が息づく島... 対馬 TSUSHIMA



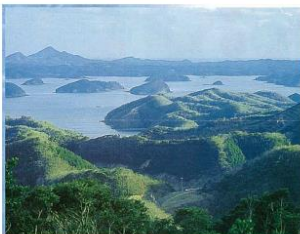
マナヅル
2月頃佐佐木平野の湿原では、鹿児島県出水市を飛び立ってシベリアに帰るマナヅルたちが、つかの間の休息を演じも姿が見られる。



龍虎山原始林
世界的にも珍しい緩傾斜地に成る照葉樹の原生林。



スモシララケ 洲瀬白嶽原始林
神秘的な姿が古くから信仰の対象になった。手つかずの原始林は国の天然記念物。



阿波岐島からの海鳥展望
和歌山県神社の背後にそびえる阿波岐島は、海峯を北原から眺めるビューポイント。日本有数のリアス式海岸、海峯湾の変化に富んだ海岸美をグリッド感で見ることが出来る。気象条件がよければ島山も見えることがある。

真樹販売株式会社

長崎県日本伝統建築を支える森のCO2吸収事業
(環境省登録 0235)

ヤベホームで新築したお施主様の生活から排出されるCO2排出量



平成27年7月30日 「ヤベホームの森」にて 長崎市松崎町



オフセットする

2013年～2017年
事業所からの排出CO2 Scope1、2
合計 30tCO2/年×5年間 オフセット！

長崎新聞 THE NAGASAKI SHIMBUN 2013年(平成25年)6月15日 土曜日 (日刊)

対馬市のCO₂吸収量購入

ヤベホーム

5年で
150万円

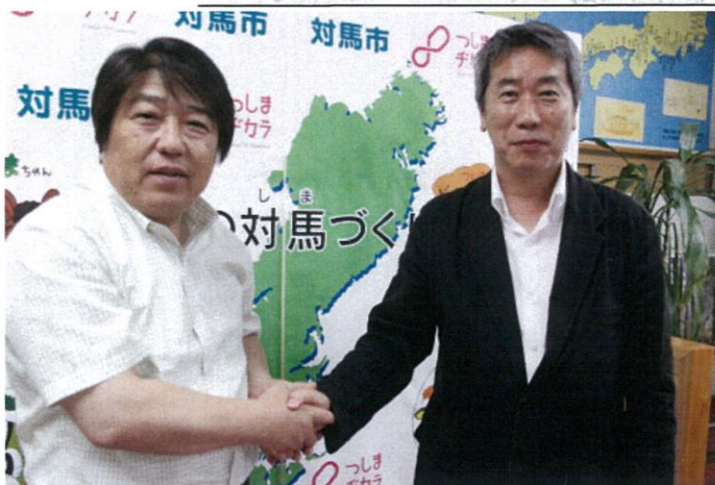
複数年大口契約は初

諫早市の住宅メーカー「ヤベホーム」(矢部福徳社長)は、対馬市が販売する二酸化炭素(CO₂)吸収量を今後5年間で150万円分(150トン程度)購入する申請をした。同市はCO₂など地球温暖化ガスの吸収量を企業などと売買できるようにする環境省の「カーボンオフセット」の制度に県内自治体で唯一登録しており、複数年の大口契約は初めて。

同市は89%が森林で覆われ、豊かな自然を活用しようと同制度に登録。島内のCO₂吸収量を算出し、2月から1トン当たり8千円以上で販売を始めた。売り上げは市の基金に入れ、森林整備やツシマヤマネコなど貴重な動植物の保護に使う。同社は住宅の柱や床などに対馬産ヒノキを使用。「目詰まりがよい上質な木を育てる対馬に貢献したい」と考え購入を決めた。

矢部社長が12日に市役所を訪れ申請。財部能成市長は「対馬の森林を守るため大切に使う」と感謝し、矢部社長は「長崎国体のCO₂排出量を対馬の森林吸収量で相殺するなど、カーボンオフセットでできる環境活動はたくさんある。市の取り組みを広く知ってもらいたい」と話した。

市は同社などと協力し、今夏に長崎市内で企業向けにカーボンオフセットの説明会を開く予定。問い合わせは対馬市農林振興課(電話0920・53・6111)。(田下寛明)



購入申請の握手をする

オフセットする

CO₂300トン分 5年間で削減

県林業公社などから購入

諫早・ヤベホーム



証明書を授け取った矢部社長（左から2人目）
県庁

県林業公社（理事長・中村功典農林部長）などは、諫早市の住宅会社「ヤベホーム」と国の「J-クレジット制度」を活用した二酸化炭素（CO₂）削減量の売買契約を締結。5日、県庁で証明書授与式があった。J-クレジット制度は、環境保全対策によって削減したCO₂を、国が「クレジット」として認証する制度。認証を受けた森林所有者は削減量を建築業者などに売却。森林所有者は売却益でさらなる環境保全に取り組み。購入した企業にとっては、自力で削減できないCO₂排出量を相殺し、ブランドイメージを向上させることができる。

今回ヤベホームと契約したのは県林業公社、対馬市、真樹販売（長崎市）。ヤベホームは3者が森林整備により削減したCO₂を本年度

から5年間、毎年60トン分購入する。CO₂60トン分は、住宅12棟を新築する際に現場に出入りする車両の排出量に相当する。

授与式で中村理事長は「（売却益で）さらなる森林整備を積極的に推進したい」と述べた。ヤベホームの矢部福徳社長は「県産材を活用し、住宅建設を通じて地域に貢献したい」と語った。（岩佐誠大）

2018年～2023年
ヤベホームのZEH住宅12棟の
建築現場までの通勤にともなうCO₂排出量

5tCO₂/棟分 60tCO₂/年を
長崎Jクレジット3社より購入オフセット！

オフセットする

更物認可)

長 崎 県

カーボン・オフセット証明書を加藤理事長（左）から受け取るヤベホーム協力業者会の松田会長ら 県庁



ふるさと経済

ECONOMY

CO₂13トン分を削減

県林業公社（理事長・加藤兼仁農林部長）は7日、諫早市の住宅会社「ヤベホーム」の協力業者会（25社、松田洋一会長）が国の「Jクレジット制度」を活用し、住宅建築に伴い排出される二酸化炭素（CO₂）13トン分を削減したと、カーボン・オフセット証明書を手渡した。

Jクレジット制度では、森林経営や省エネルギー機器

ヤベホーム協力業者会

導入などによるCO₂の吸収量、削減量を国が「クレジット」として認証し、認証を受けた事業者は削減量を売却できる。カーボン・オフセットとは、企業などが削減量（クレジット）を買い取ることで、自力で削減できないCO₂排出量を相殺する取り組み。

県林業公社が証明書

同会によると今回削減量として購入したCO₂13トン分は、住宅10棟を新築した際、現場に出入りする車両の排出量に相当する。ながさきカーボン・オフセット推進協議会会長も務めるヤベホームの矢部福徳社長は「CO₂削減に向けた取り組みを、本県から広げていきたい」と話した。

（六倉大輔）

サプライチェーン（協力業者会）
Scope1の排出CO₂の一部を
長崎県林業公社のクレジットで
オフセット！

カーボン・オフセットの活用

※ながさきカーボン・オフセット推進協議会取組みの一例

2014年 長崎がんばらんば国体・大会

県内外54社の企業に協力していただき、開・閉会式の県内移動で発生する73tのCO2をオフセット。



カーボン・オフセット付き

ヤベホーム杯サッカー大会

諫早市内の小学生によるサッカー大会。来場関係車両が排出するCO2を長崎の森林「真樹フォレスト」へカーボン・オフセット。環境に配慮した県内初のクリーンな大会。



2013年

カーボン・オフセット住宅標準仕様

構造材・床材



構造材
・対馬ひのき

化粧柱
長崎ひのき (真樹販売)

床材
・対馬ひのき

県産材の製材・加工輸送にかかるCO₂排出量の削減

断熱材

カーボンフットプリント (CFP) 認証



調湿する断熱材 セルロースファイバー

環境・省エネ

デコスドライ工法

住宅の断熱化によるエネルギーの節約は地球温暖化防止にとっても有効な方法です。

断熱 防露・調湿 吸音

新聞紙をリサイクルしてつくる
木質繊維系断熱材 **DECOS DRY**

セルロースファイバーを使用することによる断熱・調湿効果アップでエアコン使用減によるCO₂削減

電気自動車用コンセント



充電用コンセントに求められる「利便性」の向上を実現したEV-PHEV充電用屋外コンセント。

ガソリン車から電気自動車へ買替え促進のための標準設置

こまめにスイッチ



シーズンオフ時、「切」待機電力をカット

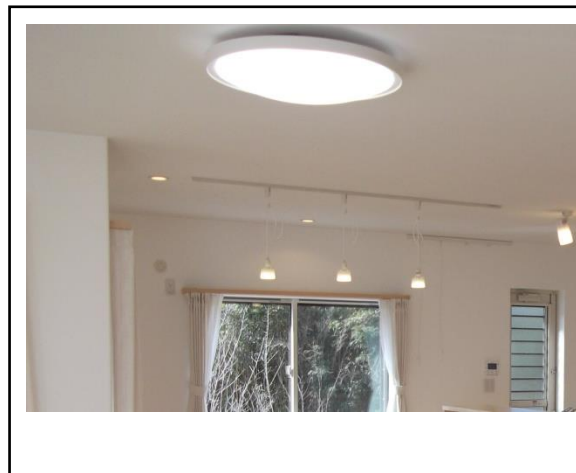
見た目スッキリ!

プラグを抜かずにスイッチOFF。待機電力がカットできます。

ONの時 OFFの時

エアコンを「こまめにスイッチ」にすることにより待機電力年間 26kwh/年・世帯 削減

LED照明



LED照明に変えることにより2008年比45%CO₂削減

雨水タンク (オプション)



有効容量 200L / 150L

水道水のかわりに雨水タンクの利用 (20リットル/日)することにより年間 2.5kg CO₂削減

カーボン・オフセット住宅

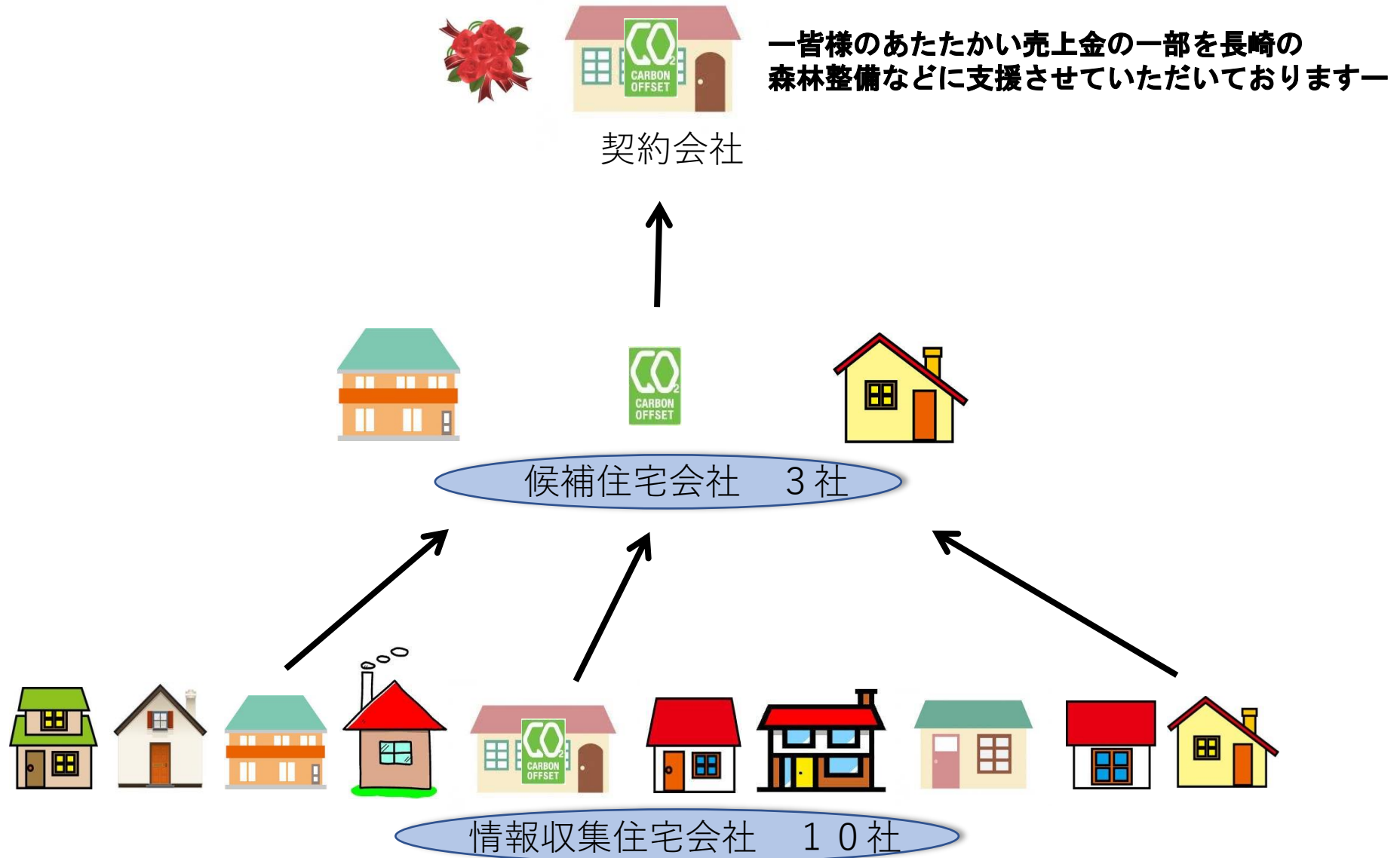


2014年6月7日 S様邸お引き渡し

やべホームの森で育った
「長崎ひのき」の大黒柱の前で
記念写真。

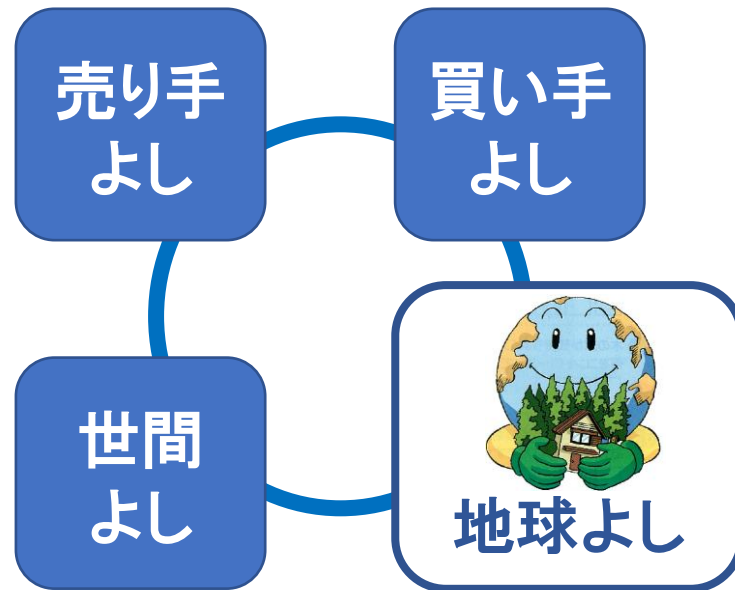
一般の方へカーボン・オフセットの説明をしてもわからない方がほとんどのため、
「売上の一部を、森林整備に使わせていただいています。」と説明。

カーボン・オフセットによる受注変化（一般ユーザーの住宅会社選びの流れ）



日本の中小企業が地元の森林クレジットを
購入し、営業ストーリー性のある商品づく
りで売上・利益拡大を目指すことは

3方よし → 4方よし！



林業再生が
日本を守る！

ご清聴ありがとうございました。